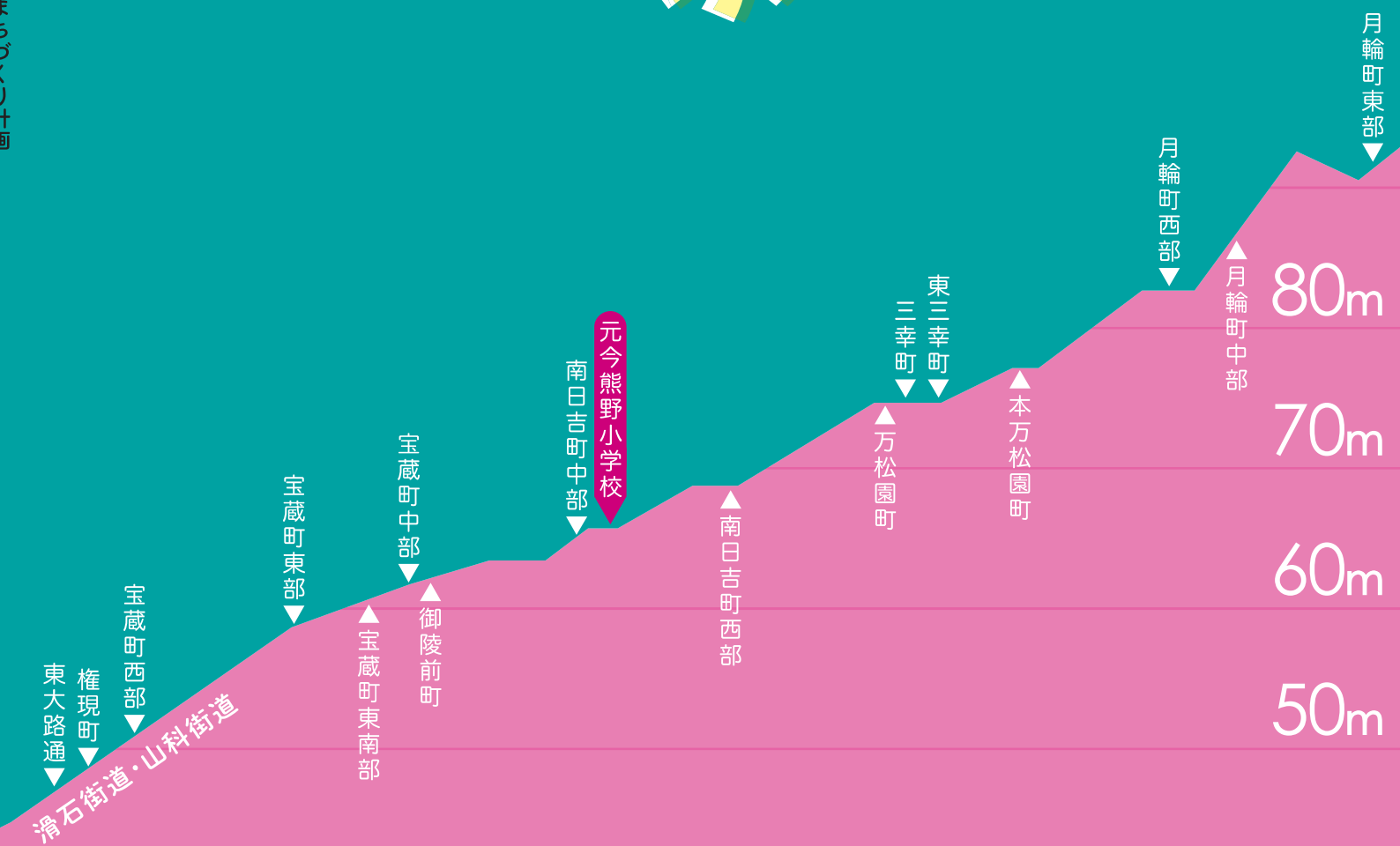


今熊野 坂のまち 防災



今熊野学区防災まちづくり計画

みんなが
安心、安全に暮らせる
坂のまち 今熊野

2021 (令和 3) 年 3 月
今熊野学区防災まちづくりチーム

防災まちづくり計画書の目次

[illegible]

1章では、今熊野学区の現状について示しています。現在の今熊野学区はどのような歴史を経て成り立ってきたのか、まちの構成はどのようになっているのか、地域のよさや資源など、統計情報なども示しながら整理しています。

[illegible]

2章では、今熊野学区の防災上の課題について示しています。現在の今熊野学区には災害時にどのような危険が想定されるのか、災害時の指定避難所や住民が利用する避難経路などについて、統計情報などを基に整理しています。

[illegible]

3章では、今熊野学区の現状と防災上の課題を踏まえて、どのような防災まちづくりを進めていくべきか、その方向性を示しています。また、防災まちづくりの考え方、用語の説明などについて整理しています。

01

4章 目指すまちの将来像

4章 坂のまち 今熊野の 目指すまちの将来像

「みんなが 安心、安全に暮らせる 坂のまち 今熊野」

みんなで少しずつ協力しながら安全に、
そして、若い人も、高齢の人も、
安心して楽しく暮らせるまちを目指していきます。

建物の活用

いろんな世代へ向けた
建物の活用

近年、子育てに適した住環境を求
める子育て層の転入や、近居を望
む子供世代の
転居も増えています。

使われていない建物を、子育て層
向け、高齢者向けなど、いろんな
世代のニーズに合わせた活用を進
めることで幅広い世代が集える町
を目指すことも可能になります。

▶基本方針：いえ P25
▶基本方針：みち P27

住みよいまちを求めて今熊野へ
▶将来像へ向けたこれからの20年 P49

学生のまち

京都女子大学

元今熊野小学校

地場産業 活性

例えば…

・伝統文化に触れる
工房空間の充実

地域の拠点

元今熊野小学校を地域活動の拠点に

避難所である元今熊野小学校も、普段から
集まる場として活用し慣れ親しむことで、
災害時の避難もしやすくなります。

例えば…
・子どもたちが学び宿泊できる施設

例えば…

・地蔵盆の復活
・子どもが遊べる小規模グラウンド

鳥辺野陵

例えば…

・日頃から足腰を鍛える！
・坂のまちマラソンの開催

坂とつきあう

坂のまちで上手に暮らす

「坂が大変」と言いながらも、その環
境と上手に暮らしているのが今熊野学
区の特徴です。坂を楽しみながら、ま
ちを知り、生活の中で災害にも備える
環境をつくりましょう。

▶基本方針：ひと P23

例えば…

・野菜販売などの
青空マーケットの開催

普段使い

普段使いもできる場づくり

防災ひろばも、例えば「青空マーケット」
や、子育て層の住民が求める「子ども
が安心して遊べるまとまったスペース」
やなど、普段から住民が活用し、使い
慣れた場所であれば、いざという時も
迅速に行動することができます。

▶基本方針：まち P29

広い連携

学区内外との広い連携

学区内にある店舗や事業者だけでなく、
近隣の月輪学区、一橋学区との連
携を進めることで、これまで以上に広
域的な対策を進めていきます。

例えば…

・商店街との、災害時の物資協力協定
・近隣学区との、合同防災訓練を実施

▶基本方針：ひと P23
▶体制・役割 P45

今熊野の目指すまちの将来像

「みんなが 安心、安全に暮らせる 坂のまち 今熊野」

4-1 防災まちづくりの基本方針・凡例

4-1-1 基本方針：ひと

4-1-2 基本方針：いえ

4-1-3 基本方針：みち

4-1-4 基本方針：まち

4-2 防災まちづくりの全体方針図

4章では、住民の皆さんの意見を基に定めた、今熊野学区の目指すまちの将来像を実現するための防災まちづくりの方針と計画について、文章と地図に示しています。また、実現へ向けた活動について整理しています。

4-3 今熊野の各町の地域特性

4-4 ブロック別計画図

4-4-1 第1ブロック計画図

4-4-2 第2ブロック計画図

4-4-3 第3ブロック計画図

4-4-4 第4ブロック計画図

4-4-5 第5ブロック計画図

4-5 防災まちづくりの体制・役割

4-6 防災まちづくりの年間の流れ

4-7 将来像へ向けたこれからの20年

5章 資料編

5-1 防災まちづくりの3年間の取組

5-1-1 まちの評価アンケート

5-1-2 防災関連イベントでの意見

5-1-3 各町の運営体制アンケート

5-2 主な関連団体の紹介

5-3 おわりに / 問合せ・相談先

1 坂のまち 今熊野の 章 現状

今熊野学区は、
自然や歴史、文化が豊かで、
世代を超えて住み続ける人も多い、
暮らしやすい地域です。

教育

近年、京都女子大学や東山泉
小中学校に通う目的で転入さ
れる方も増えています。

転入

まちなみ

陶業で栄えた地域のため、窯
や工房、多くの職人が住まい
を求めた結果生まれた路地の
ある空間は、趣きのある風景
をつくりだしています。

▶成り立ち P5

陶業

▶成り立ち P5

元今熊野
小学校

今熊野商店街

コミュニティ

住宅が密集して立地する路地
は、その距離感の近さから地
域のコミュニティを育んでき
ました。

東山泉小中学校
(西学舎)

産業

住宅地を基本としながら、今熊野商店街や、陶業の工場があるなど、学区内でもさまざまな地域の特徴があります。

▶環境・くらし P7

近居 / 長く暮らす

慣れ親しんだ環境を求め、親の近くに住まう「近居」を望む声も多く聞かれます。

鳥辺野陵

自然

今熊野学区のよさについて聞くと、「自然豊かで静かな環境」を挙げる人が多いです。

▶まちの評価アンケート P53

地形

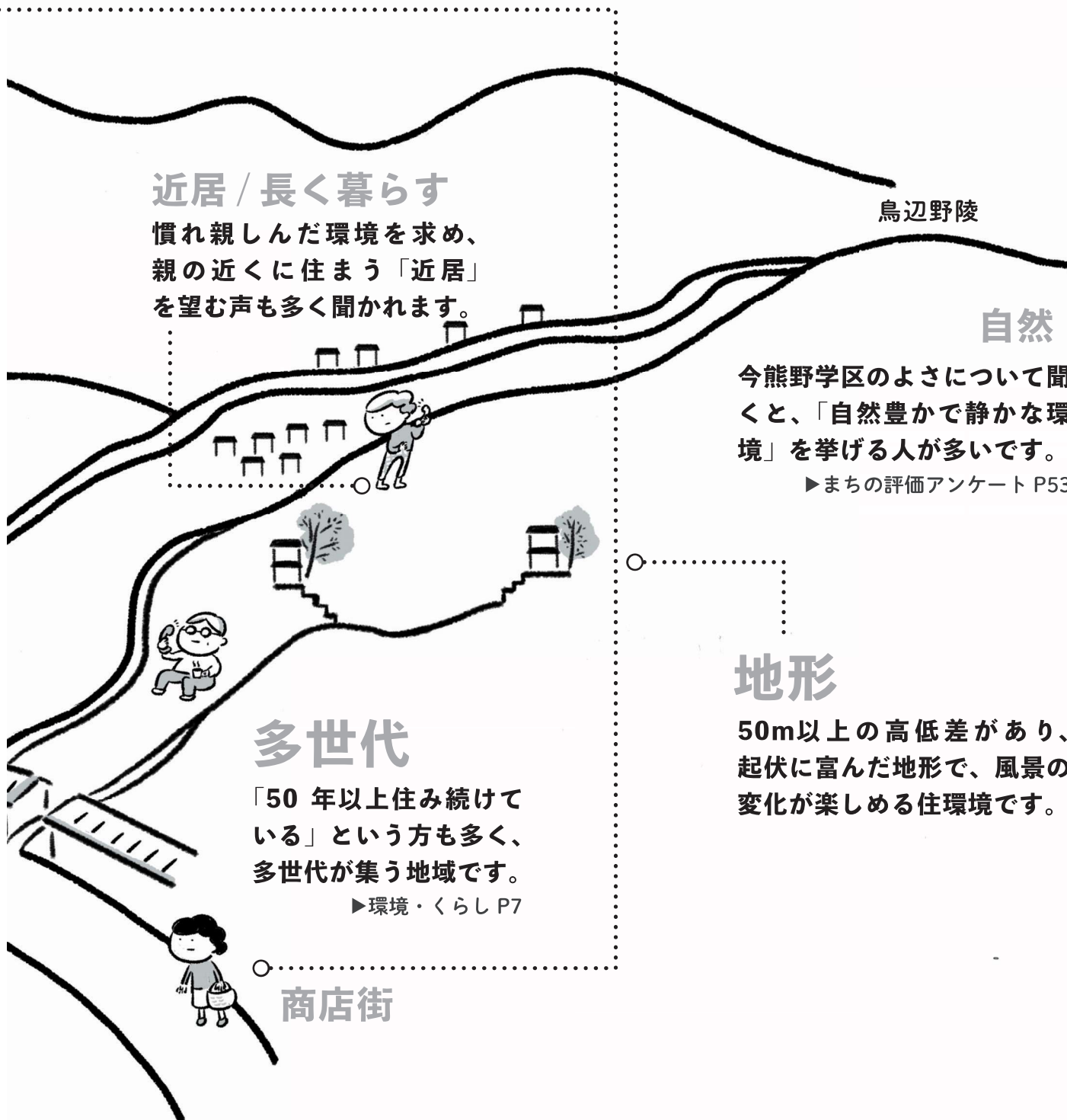
50m以上の高低差があり、起伏に富んだ地形で、風景の変化が楽しめる住環境です。

多世代

「50年以上住み続けている」という方も多く、多世代が集う地域です。

▶環境・くらし P7

商店街



1-1 坂のまち今熊野の 成り立ち

地名の由来は平安時代にさかのぼるといわれる今熊野学区の成り立ちについて、人口推移とともに整理しています。

平安遷都以降、阿弥陀ヶ峰山麓一帯は鳥辺野と呼ばれ、南西麓の南鳥辺野は「貴人の無常所（葬送の地）」として知られていたといえます。泉山町の鳥辺野陵は藤原定子の御陵として今日まで伝えられ、延仁寺は最澄が開基し、親鸞が茶毘に付されたといわれています。

「今熊野」の地名の起こりは 12 世紀後半。平安時代末期に後白河上皇が法住寺殿を造営した際、守護神として紀州の熊野から新熊野神社を勧請したことに由来するといわれ、その後江戸時代に今熊野が通称になりました。当時は田畑や森林の広がる人家のまれな地域で、お茶が多く栽培されていたといえます。

平安

江戸

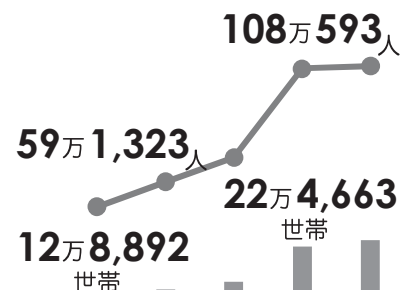
明治

大正

明治 21 年に京都支部に編入、明治 35 年に今熊野町と呼び名が変わります。当時の総戸数は 500 戸に満たない農村地区でした。

しかし大正期には近代化が進み、大正元年に東山三条～渋谷（現在の馬町）間に、京都市電の線路が敷設されます。

大正 2 年には渋谷から七条河原町、七条烏丸へのルートが順次整備されます。そして同年、陶工の西仁太松が、陶工業者が飽和状態の五条坂から新天地を求め、蛇ヶ谷で初めての窯を開きます。これに若手陶工も同調し移り住み、宅地化、人口増加が進んでいきました。



※引用「国勢調査」
昭和 22（1947）臨時調査
平成 2（1990）市独自調査
※引用「京都市市民調査（昭和 16（1941）」

京都支部に編入

今熊野町に改称

京都市電の敷設
蛇ヶ谷開窯

東山トンネル開通

京都市電東山線の南進
一橋第三尋常小学校の開校

21

35

1 2

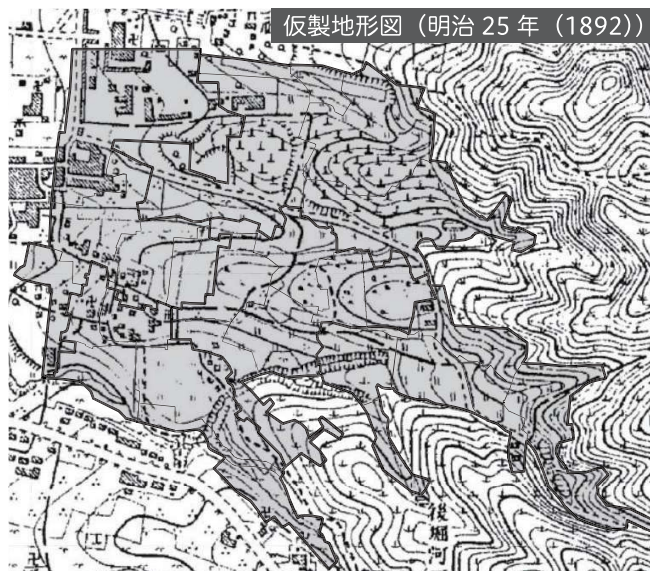
910

14

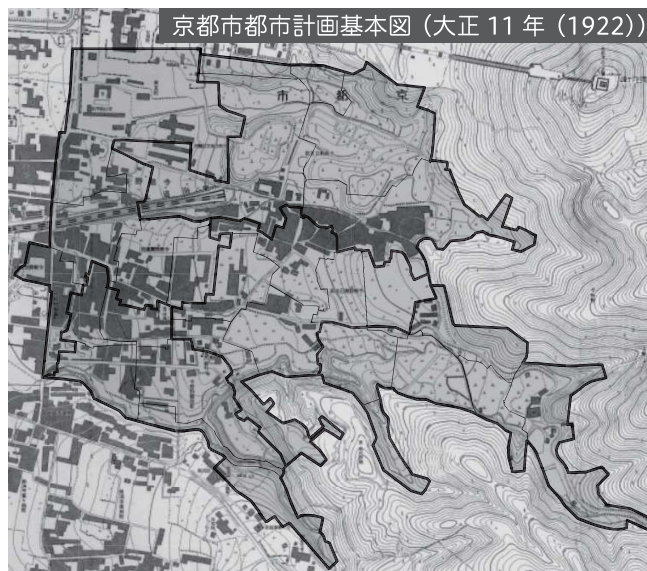
356

10

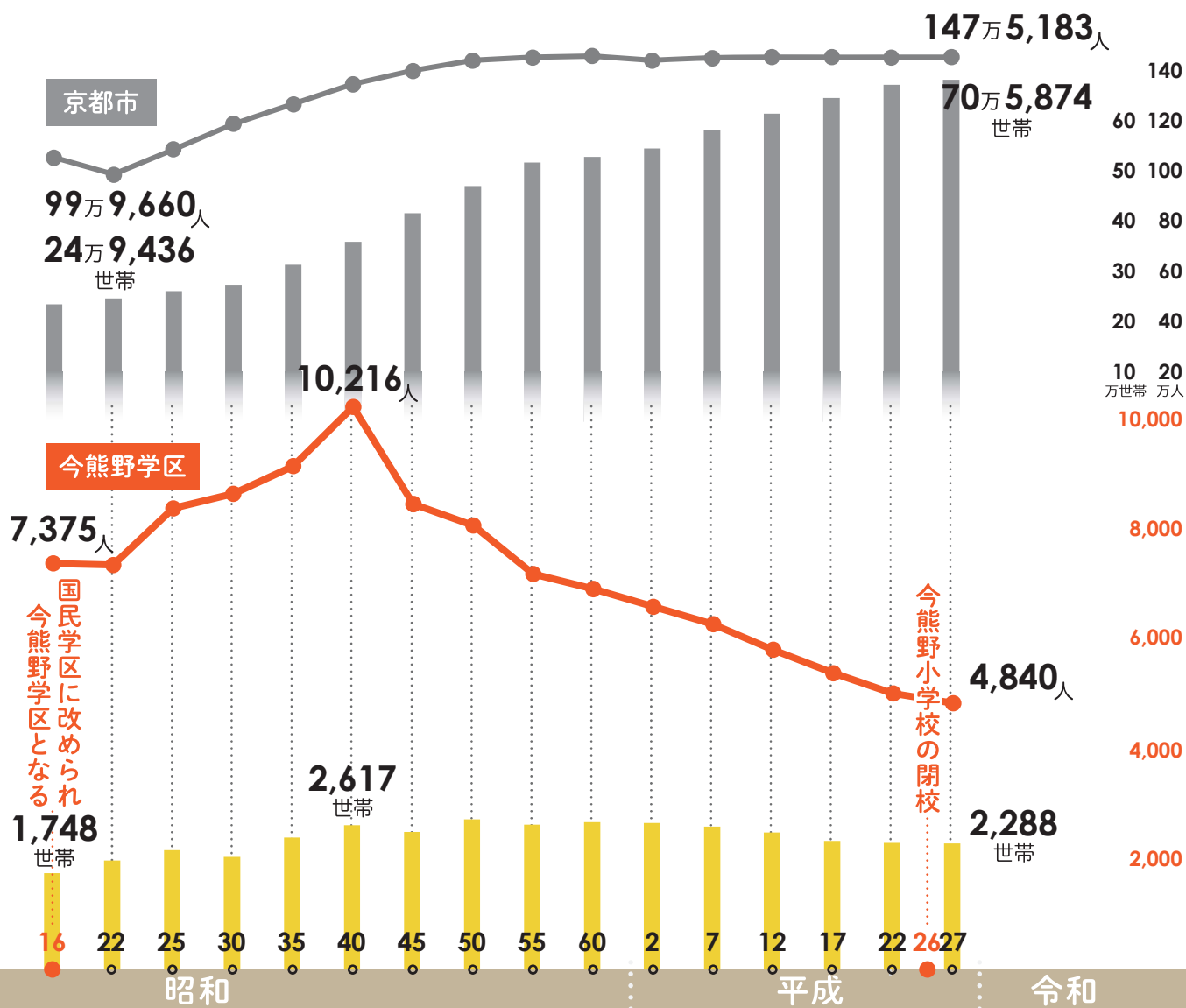
15



仮製地形図（明治 25 年（1892））

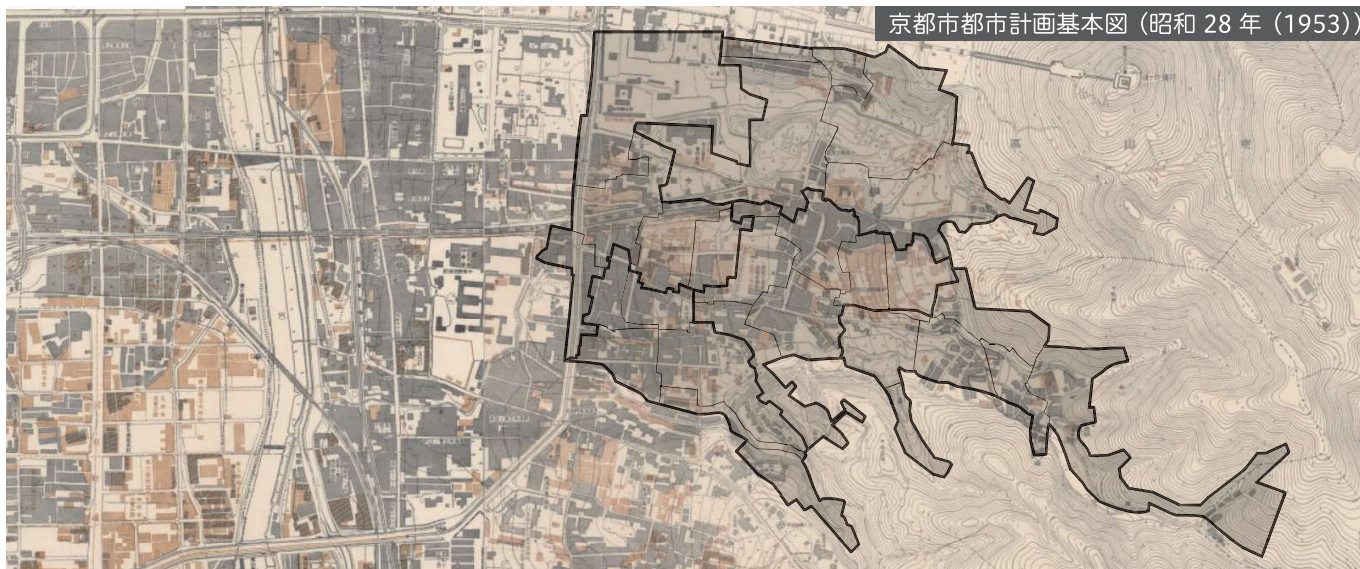


京都市都市計画基本図（大正 11 年（1922））



※引用「近代京都オーバーレイマップ」

京都市都市計画基本図（昭和 28 年（1953））



1-2 坂のまち 今熊野の 環境・くらし

今熊野学区は、起伏のある自然豊かな地形と、先に示したまちの成り立ちによって、現在の住環境が形成されてきました。今熊野学区のまちの構成要素を、統計情報等を基に整理しています。

地形

学区内の高低差 **50m**以上

例えば、今熊野学区の皆さんがよく利用する滑石街道で計測してみると、西端の権現町から東端の月輪町東部に至るまで実に 50m以上の高低差があります。市街地から自然豊かな風景まで、多様な地域性が集う点は、今熊野学区の豊かな住環境の特徴の一つです。

【詳細】 高低差については「国土地理院地理院地図 / GSI Maps」で確認できます。

用途地域

主に
第一種中高層 住居専用地域

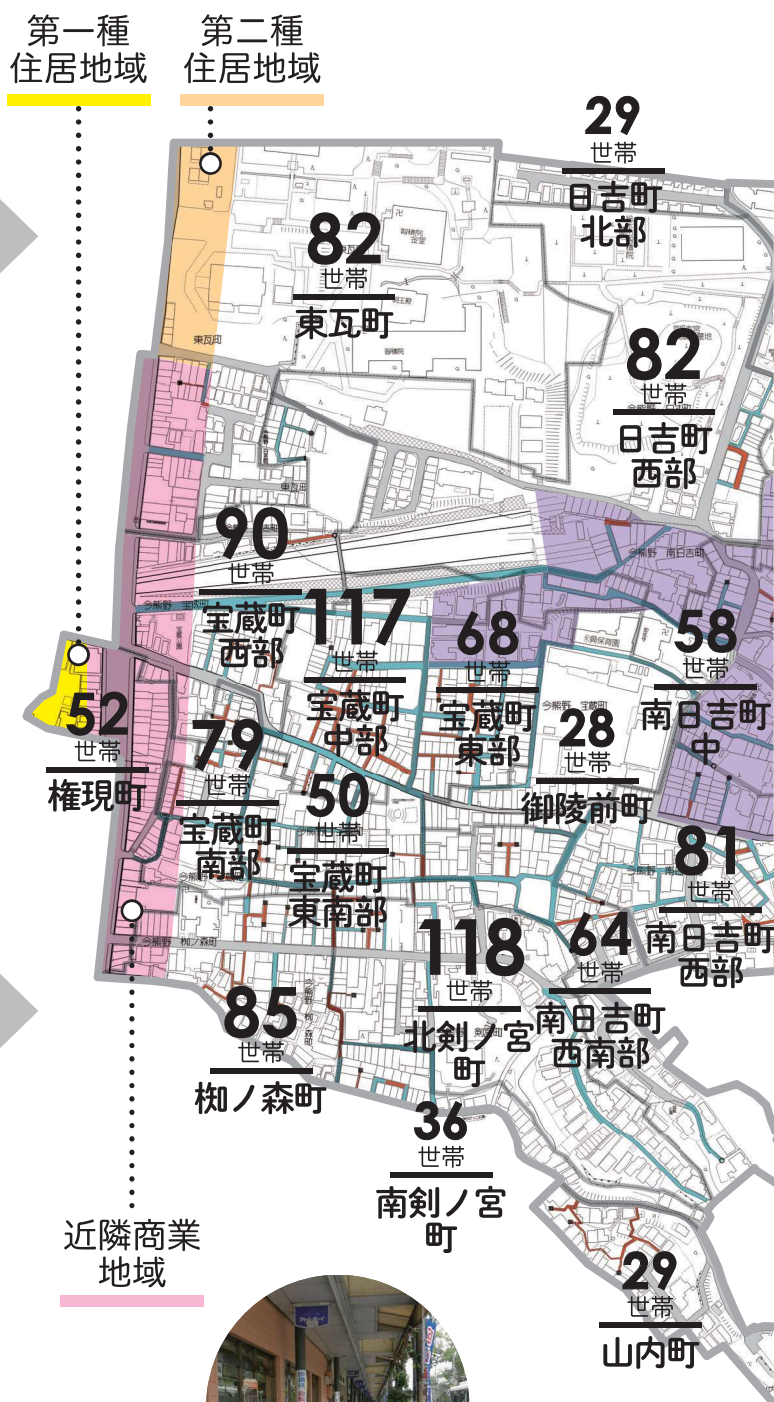
中高層住宅に係る良好な住居の環境の保護を目的とする地域で、床面積 500 m²以下かつ 2 階以下の店舗も可能です。

また、建蔽率 60%、容積率 200%、高さ制限 12 ~ 15mの範囲での建築が可能です。

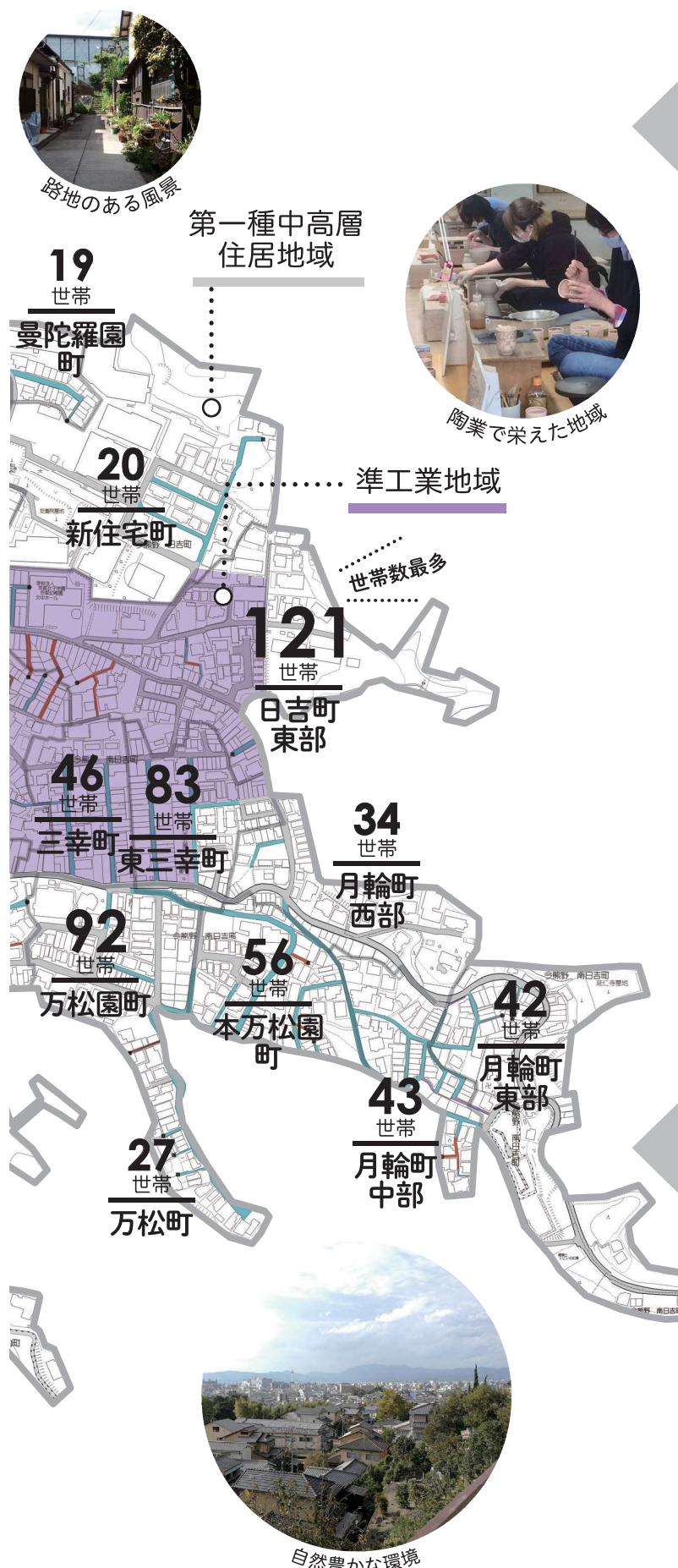
その他、東大路通沿道は「近隣商業地域」、陶業の工房等がある地域は「準工業地域」など、地域特性に応じた建物や業態が建てられるよう定められています。

※用途地域は、都市計画法に基づく「京都市都市計画マスタープラン」にて定められています。

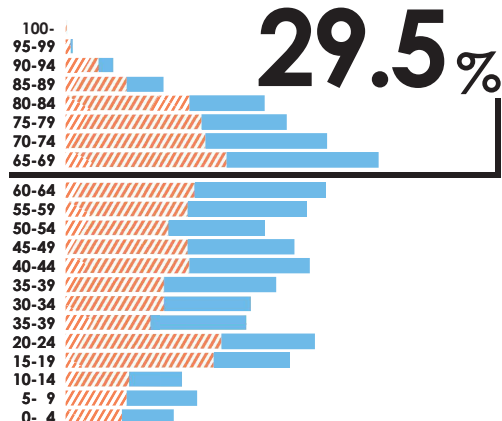
【詳細】 指定内容は「都市計画情報等検索ポータルサイト」で確認できます。



今熊野商店街



年代別人口



京都市（28.2%）の中でも一番高齢化率が高い東山区（33.5%）。今熊野学区は区平均をやや下回る 29.5% です。

「高齢化率が高い＝地域課題」ではなく、高齢になっても安心して暮らしやすいまちにしていくことは、近年増加する若い世代の住民の方も、住み慣れたまちに長く住み続けられることにつながります。

※京都市、東山区は「令和2年9月15日現在の推計人口」をもとに算出。今熊野学区は「平成27年国勢調査（国勢統計区別）」をもとに算出しています。

【詳細】統計内容は「京都市地域統計要覧ウェブサービス」で確認できます。

住宅状況

持ち家率 **73.4%**

持家率は京都市全域（54.2%）と比較して高く、特に一戸建て世帯の割合は70.1%と、京都市全域（44.4%）と比較して非常に高いです。また、長屋建て世帯の割合（3.3%）も、京都市全域（2.5%）と比較して高いです。一方共同住宅世帯の割合（26.4%）は、京都市全域（52.9%）と比較して低い状況です。

【詳細】統計内容は「京都市地域統計要覧ウェブサービス」で確認できます。

※各町の世帯数は「令和2年度自主防災会役員名簿」をもとに算出しています。